

令和7年度能美小学校 学校経営計画

小松市教育理念・教育目標・教育方針

1. 教育理念
Learn Well, Live Well
いつだって、誰だって、新しい可能性を
2. 教育目標
あらゆる世代の成長が社会の持続的な発展に
3. 教育方針
誰もが輝ける「学びのBest Balance」

板津地区小中学校が願う子供の姿

- ・自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒(主体性)
- ・多様性を尊重し他者と協働し、よりよく課題を解決できる生徒
(他者理解・協働性)
- ・社会に積極的に参画したり、貢献したりできる生徒(社会参画)
- ・自己の生き方を考え、夢や希望をもとうとする生徒(自己理解・将来展望)

信頼される学校へ
～「笑顔」と「あい」で～

教育目標

「自ら学び 心豊かで たくましく 笑顔あふれる 子の育成」
～夢をもち、挑戦できる児童の育成を目指して～

目指す学校像

- ・子供も教師も通いたくなる学校
- ・保護者、地域に信頼される学校
- ・安心安全に生活できる学校

目指す児童像

- ①よく考え自ら学ぶ子
- ②心豊かで思いやりのある子
- ③粘り強く取り組むたくましい子

目指す教師像

- ・児童のよさを認め、のびす教師
- ・指導力の向上に努める教師
- ・尊敬、信頼される教師
- ・組織の一員として協働できる教師

重点目標

確かな学力の育成	豊かな心の育成	健やかな体の育成
わかる・できる授業づくり	居心地の良い集団づくり	健康で学びを支える体力づくり
・「主体的・対話的で深い学び」の一層の充実を図り、一人一人に確かな資質・能力を育成するために、各教科のつきたい力を明確にしながら授業改善を進める ・ICT 機器や一人一台端末を効果的に活用し個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進める ・小テストや単元末テスト等で児童の基礎・基本の定着を図ると共に、活用力を育成する ・家庭学習の習慣化と充実を図る	・生徒指導の4つの視点を意識した授業や教育活動を行い、発達支持的生徒指導を行う ・特別活動を重視し、行事や学級会を通じた意図的働きかけの中で児童による自主的、実践的な活動の推進と振り返り等の発信を行う ・心と声が響き合う教育活動を推進する ・様々な活動や体験を通して自己肯定感を高め夢や目標を持ち、挑戦する意欲をもたせる ・教師と児童、児童相互の人間関係を醸成する ・いじめ根絶に向け質の高い道徳教育や人権教育を実践し、いじめの未然防止に努める。また、日頃より児童の言動にアンテナを高くし、小さなトラブルであっても見逃さず、即時対応(早期・組織的)に努める	・体育の授業やその他の取組を通して体力の向上を図る(縦割り活動の活用) ・保健指導を充実させる ・安全教育を充実させ、危機回避能力を身につけさせる ・食に関する教育を充実させる ・家庭と協力し、望ましい生活習慣を確立する(朝食、スマホ・タブレット・ゲーム機の利用)

主な取組 (各分掌より)

教務部	学校研究	生徒指導部	保健体育部
○学び合う集団づくり 【学力向上】 ・授業構想シートの活用 ・学習規律の定着 ・家庭学習習慣の定着 ・ICT 活用の推進 【特別活動】 ・集会活動の充実 ・異学年・たてわり交流の充実	○主体的に考え、伝え合い、深め合う子の育成 ・学年に応じた指導事項を確実に身に付けさせる授業づくり ・自分の考えを広げ、深めるための授業づくり ・語彙を豊かにするための工夫	○「認め合い、助け合い、響き合い」 ・生徒指導の4つの視点を意識した授業づくり ・響きあうあいさつの促進 ・いじめアンケートの実施・共有 ・児童との個別面談の実施 ・校内支援委員会の開催 ・校内研修会の開催 ・児童会活動の充実	○心身の健康に向き合い、体力を高め合う ・児童の体力向上、教師の指導力の向上 ・運動の場の充実、運動の機会の確保 ・学校保健委員会主催の講演会の開催 ・児童保健委員会による児童自身の健康に関する取り組み

組織的な学校運営

- 報告・連絡・相談を密に組織的対応
- コミュニケーションを大切に職員個々の資質・能力・良さを発揮
- チームとして協働できる職員集団

家庭・地域との連携

- 小小・小中連携の推進
- 保護者・地域とともに開かれた学校づくりの推進

生き生きと働ける学校づくり

- 業務改善・多忙化改善を推進し、時間外勤務時間を削減
- 教職員のワークライフバランスを考え、生き生きと働ける学校